

## 健康社会研究センター ニュースレター 第 28 号

2013. 4. 11 発行

### ◆ 目次 ◆

- 1 CWS 退職者と新任者紹介
- 2 主な研究成果発表
- 3 JAGES プロジェクト参加研究者の科学研究費採択
- 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 5 その他お知らせ

### 1 CWS 退職者と新任者紹介

#### ○退職者

- ・伊藤大介（研究員） →刈谷市社会福祉協議会へ

#### ○新しい主任研究員自己紹介

##### ・引地 博之（ひきち ひろゆき）

健康社会研究センターの主任研究員に着任した引地博之と申します。

私の専門分野は心理学です。東北大学文学研究科で学位を取得いたしました。主な研究関心は以下の3つです。

1. 地域愛着の要因とその形成メカニズム
2. 東日本大震災による惨事ストレス反応の緩和要因
3. 相対的剥奪の認知を促す要因

研究会の裏方として皆さまのサポートに徹するとともに、様々な学問分野の方々との関わりの中で自分を磨きたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

##### ・岡田 栄作（おかだ えいさく）

4月1日より日本福祉大学健康社会研究センターに主任研究員として着任致しました岡田栄作と申します。

3月に、北海道大学大学院医学研究科で学位を取得して、こちらに参りました。大学では、臨床福祉学を専攻し、修士課程ではバイオ統計学、博士課程では公衆衛生学を学びました。

研究を実施していく過程で、人々の生活習慣を変えていくことはなかなか難しく、社会環境の構築という側面から健康を予防するアプローチが今後重要だと考え、社会疫学に興味を持ちました。社会疫学分野は勉強し始めたばかりですが、JAGES という社会的意義の大きい研究プロジェクトに参加させていただけることを大変嬉しく思っております。微力ながら、プロジェクトに貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 2 主な研究成果発表

#### <論文等>

- ① Daisuke Takagi, Katsunori Kondo, Naoki Kondo, Noriko Cable, Ken'ichi Ikeda, Ichiro Kawachi: Social disorganization/social fragmentation and risk of depression among older people in Japan: Multilevel investigation of indices of social distance. *Social Science & Medicine* 83:81-89, April 2013
- ② Takeuchi K, Aida J, Kondo K, Osaka K. Social Participation and Dental Health Status among Older Japanese Adults: A Population-based Cross-sectional Study. *PLoS ONE* 2013. doi: 10.1371/journal.pone.0061741

- ③ 近藤克則：公衆衛生における地域の力（ソーシャル・キャピタル）の醸成支援. 保健師ジャーナル 69 (4), 2013. 4
- ④ 尾島俊之・近藤克則・米澤淳子：健康づくりに必要な「社会環境の改善」「健康格差の縮小」にどう取り組むか. 保健師ジャーナル 69 (4), 2013. 4
- ⑤ 中川雅貴, 近藤克則, 鈴木佳代：健康格差とネットワークをめぐる研究上の諸問題とその克服. 社会と調査 10 : 52-57, 2013. 3
- ⑥ 伊藤美智予, 近藤克則, 泉真奈美, 藤田欽也：要介護認定データを用いた特別養護老人ホームにおけるケアの質評価の試み—11 指標群の作成と施設間比較—. 厚生指標 60 (5) —印刷中—
- ⑦ 杉山統哉, 近藤克則, 松本大輔, 田中宏太佳：急性期脳卒中患者の歩行自立度と社会的サポートの関連—リハビリテーション患者データバンクの多施設登録データを用いた研究—. 総合リハビリテーション 41 (2) : 161-169, 2013

#### <その他>

- ① 近藤克則：リハ医のモヤモヤ解決！こんなときどうする？「患者のデータ管理をうまくしたい」. Journal of clinical rehabilitation 22(3), 2013. 3

#### <講演等>

- ① 近藤克則：特別講演「貧困・社会的排除と健康格差」. 「パネル調査を軸にしたホームレス経験者への包摂的支援に関する研究」公開研究会「ホームレス経験者の包摂的支援」. 2013. 3. 31, 日本福祉大学名古屋キャンパス
- ② 近藤克則：「地域のユイマールで長寿の島おきなわを取り戻そう」事業への期待. キックオフコンファレンス「地域のユイマールで長寿の島おきなわを取り戻そう：～沖縄県一括交付金事業の開始に向けて～」, 2013. 3. 29, 沖縄
- ③ 伊藤美智予, 伊藤大介：「認知症者の生活支援実態調査と支援方策の開発に関する臨床研究」報告（平成 24 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業）. 医療福祉生協連, 2013. 3. 27（東京）, 29（大阪）
- ④ 近藤克則：ソーシャル・キャピタルと健康. ソーシャル・キャピタルワークショップ「社会関係資本研究の 20 年を振り返る」, 2013. 3. 15, 日本大学
- ⑤ 近藤克則：社会疫学の視点. 社会格差と健康シンポジウム 孤立死と社会的排除にどう立ち向かうか. 2013. 3. 14, 東京大学

#### <その他>

- ・ 社会保障制度改革国民会議にて、日本歯科医師会の資料として AGES の研究成果（歯と認知症、歯と転倒）が報告されました。  
詳細はこちら → <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/dai7/gijisidai.html>
- ・ JAGES プロジェクトの研究成果が紹介されました。  
CBC ラジオ『きく！ラジオ「寝たきり・認知症で”要介護”にならないために』』（※東海3県エリア）. 2013 年 4 月 1 日（月）～5 日（金）午後 0 時 30 分～午後 1 時
- ・ 介護予防政策サポートサイトが公開されました → [http://www.yobou\\_bm.umin.jp/](http://www.yobou_bm.umin.jp/)  
どのような要介護リスク（転倒や口腔機能、うつなど）を持つ高齢者が、どこの保険者（市町村）で多いのかなどを比較できます
- ・ 「WHO 年次報告書 2012」に日本福祉大学健康社会研究センターが掲載されました。  
『WHO 健康開発総合研究センター 年次報告書 2012』中、「Ⅲ 2012 年の主な成果」, 「Ⅳ. WHO 神戸センターの研究分野における進展 A. 都市部の健康評価」, 「Ⅴ. 未来に向けて」の中で JAGES の取り組みが共同

研究として紹介されました。

詳しくはこちら→ [http://www.who.int/kobe\\_centre/publications/annual\\_report2012\\_ja.pdf](http://www.who.int/kobe_centre/publications/annual_report2012_ja.pdf)

### 3 JAGES プロジェクト参加研究者の科学研究費採択

#### ①厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

研究代表者：近藤尚己

研究課題：「ソーシャル・キャピタルの概念に基づく多部門連携による地域保健基盤形成に関する研究」（2013年度～2015年度）

#### ②文部科学研究費基盤研究A

研究代表者：近藤尚己

研究課題：「高齢者における健康の社会的決定要因に関する大規模パネル調査」（2013年度～2017年度）

#### ③文部科学研究費若手研究B

研究代表者：白井こころ

研究課題：ポジティブ心理と健康の社会的決定要因：社会関係資本と健康のメカニズム検討

#### ④文部科学研究費基盤研究C

研究代表者：鄭丞媛

研究課題：リハ医療における「医療の質」を決定する要因分析：P4P指標の妥当性の検証

### 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

・JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・5月 JAGES 研究会

【日 程】5月12日（日）・26日（日）10：30-

【場 所】未定

・「健康とくらしの調査」保険者向け説明会

【日 程】4月22日（月）

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

### 5 その他お知らせ

#### ①No. 578 医療経済研究会

近藤克則：イギリス医療制度改革に学ぶ『見える化』とマネジメント。

【日 程】2013年4月16日（火）※4月8日が延期されました

【会 場】医療経済研究機構（東京）

【主 催】医療経済研究機構

#### ②第56回北海道医療ソーシャルワーク学会

「明日の医療福祉を開く MSWの社会貢献」

近藤克則：教育講演「健康格差社会を生き抜く」支援—MSWの役割

【日 程】2013年4月20日（土）

【会 場】ホテルさっぽろ芸文館

【主 催】北海道医療ソーシャルワーカー協会

**③第4回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会**

近藤克則：シンポジウム「どうする健康格差と不平等」

【日 時】2013年5月17日（金）～19日（日）

【会 場】仙台国際センター

**④The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2013)**

Symposium“Developing Indicators for WHO Age-Friendly Cities”

【日 時】2013年6月23日（日）～27日（火）

【会 場】Coex (Convention and Exhibition Center), Seoul, Korea

**⑤明治学院大学 150 周年記念企画 社会学部学術講演会 「少子・高齢格差社会を越えて（仮題）」**

近藤克則：講演「高齢化と格差社会—高齢者の健康格差を考える（仮題）」

【日 時】2013年6月28日（金）

【会 場】明治学院大学

---

ニューズレター第28号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<[k-manami@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-manami@n-fukushi.ac.jp)

（泉）>までお知らせください（ご連絡の際は\*を@に変更して下さい）。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」（2009年3月14日開催）及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向（2011年12月23日開催）、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」（2012年1月8日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。